

加じき

広報

No. 223

昭和49年4月5日

発行 加治木町役場

編集 総務課文書係

花吹雪やむとおき岡下り惜しむ

牧
笛
郎

昭和49年

4月号



手弁当を開いてお花見（城・配水地で）

■メモ 人口／19,960 男／9,414 女／10,546 世帯／6,367 （49年3月1日現在）

婦人会だより

新年度の町婦連・校区常任委員が改選されました。どうぞよろしく会員の皆さまのご協力をお願いします。

▼町婦連執行部

会長 提 浩子

(副) 中摩まり子

(副) 中摩多美子

▼校区常任委員

竜門校区 会長 西村さだ子

(副) 川野さだ子

中野校区 会長 坂下ハギ子

(副) 緒方チエ子

永原校区 会長 堂森とし子

(副) 久保田照子

錦江校区 会長 児玉 園子

(副) 蔵満 月子

(副) 新宮 浩子

柁城校区 会長 川井田よお子

(副) 鹿倉 友子

(副) 内村 信子

香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

□町社会福祉協議会へ

五千円

楠 原 西山鉄夫(母より)

二万円

茶碗屋 福本ムラ(夫繁治)

一万円

赤 谷 山口重義(母モト)

五千円

札 立 野田郁子(夫正二)

一万円

岩原西 永松瑞子(夫正人)

三万円

飯屋町 曾木重隆(祖母たつ)

二千元

朝日町 後藤省三郎(妻フキ)

一万円

本 町 竹下泰蔵(父幸蔵)

一万円

川 内 恒吉 勝(母ケサチヨ)

一万円

上木田 扇蘭ミツエ(夫誠次)

三万円

札 立 白尾ヤツ(夫国清)

一万円

西諏訪 海老原民也(父敬三)

五千円

鶴 原 向江市熊(妻イ子)

二万円

田 中 前田フサ子(夫栄春)

二万円

岩原東 高瀬キミ・黒田米子

二万円

端 山 瀬戸佐市(妻房江)

五千円

赤 谷 鶴田 悟(妻ナカ)

一万円

小田倉 宮脇ヒサ子(夫忍)

三千元

萩 原 内村千広(拾得金謝礼)

一万円

葛蒲谷 外村政男(妻ナイ)

五千円

日木山 下津佐喜太郎(妻ウメノ)

一万円

赤 谷 山口重義(母モト)

二万円

飯屋町 曾木重隆(祖母たつ)

一万円

西諏訪 海老原民也(父敬三)

三千元

柁城校区婦人会(一般寄付)

一万円

町連合婦人会(同)
東豊子 入部伊勢子 池田幸子 中摩タシ子

▼町の新年度予算案も三月末に可決され

四十九年度がスタートした。本号では町長の施政方針と予算説明を要約掲載しました。条例関係は五月号でお知らせします。



例関係は五月号でお知らせします。

▼三月二十三日に九十七年の歴史と伝統をもつ中野小が閉校した。関係記事を二ページにわたって掲載し、みなさんともに名残りを惜しまたい。このために初の十ページ発行となった。

▼四月六日から十日間、春の全国交通安全運動が展開される。スローガンは「新入学(園)児と子どもを交通事故から守ろう」

想 中野小の閉校に思う

曾 木 隆 輝

この三月いっぱいの中野小学校は閉校して、柁城へ統合にきまった。小規模校はどこでも単に子どもの教育の場だけでなくその地域の文化の中心点でもある。

校長や数人の先生は、時と場合によってはその地方の社会教育課長、図書館長、公民館長や

婦人会長でもある。

従って子どもも有無に関係なく部落民にとって先生たちは自分たちの教師でもある。こうした関係を保ちつつ中野小学校は百年近い歴史をつみ重ねてきた。しかし近年の農村事情から、先年辺川の鎮守小中校が永原に統合したように中野小は四月から柁城校に統合さ

れることになった。

私は中野小の先生方や部落の皆さんの心情を察すると胸をしめつけられるような気がする。校区民のかたがたがよく決意してくださったと思う。

町としても今年も来年も、中野校区内の通道の整備にはさらに力を入れ、スクールバスも四月から間に合わせることにした。柁城校にも鉄筋校舎三教室の増築を見込んでいる。

この数年来、柁城校などには、いつも転入生が多いので、加中、

錦江なども新しく友だちを迎えることにはなれていると思う。中野の子どもも暖かく迎えられると信じている。

むかし藩政時代の塾とか学校では、生徒は五人でも十人でもよかった。そこでは漢籍とか英語とか数学とか、限られた科目で、しかも人格形成が、主にならなければならぬ。しかも限られた青少年だけが教育を受けたのだから、先生も一人でもよかった。

が、今日の義務教育は内容から範囲から全然違うので、小規模校

の子どもたちの教育向上のためその幸福のため、万難を排して統合に踏み切った。もちろん教育委員会、統合審議会、議会それぞれ機関は入念に調査し検討し、この結論をだしてもうってから。跡は公民館などにする。

私は中野小の卒業式にも閉校式にも出席して数は少いがキチンとした子どもたちの態度に、その眼に大きな希望があふれていると思った。旧中野校区の子らの行先に幸あれと祈りつつ：

49年度当初予算

一般
会計

11億2千990万円

住民の生活に係る事業を優先

三月十二日に開かれた昭和四十九年第一回定例町議会で、曾木町長は「住民生活に直接関係あるものを取り上げ、町民の福祉、教育の推進」を重点施策とする所信表明を行なった。曾木町長の施政方針の要旨は次のとおり。

町長の施政方針

昭和四十八年度の経済は、需給の逼迫基調のもとで物価は予想以上に上昇し続け、ことに昨年暮れ以来の石油問題で世界各国産油国は大きな打撃を被るに至ったわけだ。

ことに日本は極めて大きな影響をうけ貿易収支の黒字は大幅に縮小し、関連産業だけにとどまらず、各種の日用品、消費者物価から諸資材・土地問題までからんで日本の経済界は大動揺を来した。

なかには便乗値上げや売り惜しみ、悪徳業者の計画的商売もあって、国民総生産は前年比六・三割の伸張率で百十六兆二千五百億に止まったものと発表され、消費者物価は前年比一四割以上の上昇は確かだと見られています。

町の実態

このような中で本町の実態を見ますと縦貫道開通、加治木以北の用地買収国道10号線のバイパス、県道・下山田線の拡張準備、港湾施設拡充はじめ、広域市町村圏計画初年度として計画しました道路の整備は一〇三・四割に達しています。広域消防にしても内容と陣容整備がなされて火災出動、ボヤとか荒地野火のひろがりの消火を含め、六十数回出動しています。救急業務出動も五百回以上に達し、その機能を十分に発揮しました。

衛生処理組合にも吉田町が参加し、差し当たり、し尿処理場の拡張をいたし、ちり焼却場も吉田町内、蒲生・始良町の近くにさらに作る計画になりました。火葬場も立派に運営され、ひと月四十から四十五件程度の火葬を実施しています。道路について一部、資材費の高騰などで繰り延べのやむないものもありました。

が、農免道路など農道を含め、上場地帯にも手が伸びたことは、まだ不十分ではあります。事実です。

人口は月十数人というわずかずつではあります。主として転入による増が毎月見られ、三月一日現在一万九千九百三十人に達しました。これは空港関係や当地方にいろいろな事業所ができたことがその大きな原因でしょうが、も一つ言えますことは、中学卒業者の進学率が大変高くなってきたこと、一般出かせぎ者が少なくなったことによると思います。

四十七年度の県平均の中学校進学率は八三・一割ですが、本町九〇・四割、四十八年度は八六・三割ですが、本町は九二・六割となり、中学卒業者の就職者は四十八年五十八人、四十七年四十四人、四十八年十六人となっています。この十六人の中にはもちろん働きのながら定時制等で勉強している人もいます。いわゆる出かせぎ者は男三人、女五人程度に止まっています。それと当地に高等学校が三つもあり、また準人、国分、鹿児島の高校へ行くにも大変便利で、他町村からここに寄留している若者もたくさんいる実情から人口が減少することなく増える原因の一つであると私は見えています。

このような姿で町内あちこちに家屋もどんどん建てられて来たとし、今後もその傾向にあります。昨年までの一部の例ですが、高井田部落などに見ますと四十五年は百十九戸あったものが昨年は二九四戸になり、口ノ町は四十八戸が八十戸に中塩入の八十六戸が百戸となるなど、その他も大きな変化をなしつつあります。ただ、本町は土地が狭いので地価が異常というほど高くなったのが、発展をさまたげていると言ってもいいかと思えます。



第一回定例町議会3月12日始まる（曾木町長が所信表明）

このような中で、住民の皆さんはいろいろな困難に耐え、ご努力いただき町政にも直接間接ご貢献くださったことを私は心から感謝申し上げます。町としてもつねにいろいろな難関に突き当たりましたが、議会のご協力、町民のご理解のもと一歩ずつではあっても本町行政を前進させて参ることができ、さきごろは全国町村会で優良町村としての表彰を受けるにいたしましたことは、当局として大きな喜びであり町民の皆さんに改めて深甚な謝意を表したいと存じます。

昨年末の実態をふまえ、新年度は実に窮屈な問題もありますし、町民のかたがたのご生活も守らねばならぬことを考えますと、どのような態度で今後のぞむか

国の方針

町の施策や予算を考えるに先立って、国のあるいは県の動向を前提として考えねばならぬことは論を待ちませんので、一応、国の方針をここで申し上げます。

石油問題の影響から、物資需給、物価や雇用等の面において国民生活にさらに少なからざる影響が及ぶことが懸念されます。このような認識のもとに、明年度の運営にあたっては適切かつ機動的な政策運用により、国民生活の安定と国民経済の円滑な運営を確保するため、次の諸施策を重点に講じようとしています。

①：最近の物価の動向にかんがみ、その安定を確保することが最優先の政策課題である。このため総需要の抑制に特段の配慮を払うものとする。また投機的行

苦悩している次第です。こんなときであればこそ、お互い力を合わせて知恵をしぼり合って、この難局を切りぬけねばならないと思います。

そうでなければ本町の歩みは停とんし町民の福祉は逆もどりするであろうと危惧しますが故に、私も物事を謙虚に率直に判断してベストをつくして職務に当たる以外、道はありません。同時に町民の皆さんもいろいろお苦しいところもありましようが、暮らしの知恵を働かせていただいで一方節約をモットーに消費をおさえ、無駄をはぶきそれぞれのお立場で積極的にあいし、あいたすけてその道に元気で励んでいただきたいと思っています。

為の防止、必需物資の輸入の促進、生鮮食品の安定的供給の確保、流通機構の合理化競争条件の整備等の諸施策をひきつづき強力に実施する。

②：石油をはじめとする物資需給の均衡を図り、とくに生活必需物資を優先的に確保することとし、さらにエネルギー消費の節減、合理化を一層推進するものとする。物価の安定、物資需給の均衡を確保するため国民生活安定緊急措置法、石油需給適正化法の成立によって、その適切な運用を図るものとする。

③：社会保障の充実、勤労者に対する施策の充実、環境保全対策の推進、地価対策の強化など、国民福祉向上のための諸施策をひきつづき推進するものとする。このようなことが国の四十九年度の経済の見とおしに立った施策です。次に、四十九年度の国の予算編成で財政投融资

計画は、このような経済事情のもとに、国民生活の安定と福祉の充実に配慮しつつ、厳に抑制的なものとするとともに、今後の経済情勢の推移に対応し得るよう機動的運営を行なうことを基本として次のように編成する。

▼財政規模

一般会計予算および財政投融资計画の規模は厳に抑制する。公債・政府保証債の発行額をそれぞれ前年度当初発行の予定額より千八百億円および五百億円縮減し、公債の発行額は二兆一千六百億円、政府保証債の発行額四千億円とする。

▼公共投資等の抑制

公共事業系事業については新規の着工を極力くりのべるなど大幅に削減する。既定の長期計画については進度の調整を図るほか、長期計画の改定は行なわない。

▼公共料金の凍結

物価の抑制に資するため公共料金を極力凍結することとし、鉄道運賃、米の政府売渡し価格の改定時期をそれぞれ六カ月延期する。

▼施策の充実

財源の重点的配分のため、社会保障など国民福祉の向上に直結する施策および物価の抑制、食糧の安定的供給の確保など、国民生活の安定に寄与する施策を充実する。また補助金など既定経費等の整理合理化を行なうとともに、旅費・庁費などの行政経費の節減をはかる。地方財政においても国と同一の基調により、公共投資をはじめとする歳出を極力、抑制するとともに財源の重点的かつ効率的な配分を行なうものとされています。

町の予算

昭和四十九年度の本町の予算編成にあたっては国の経済事情や予算編成方針にのっとり、次の事項に留意しながら編成しました。

とくに議会からのご要望などを含めて検討しました。しかし本年は国の政策が厳しいために意の如くならなかった点はまことに遺憾ですが、私としては

①：住民生活に大きな、かつ直接関係のあるものを取り上げる。

②：福祉関係

③：教育関係

この三つを根幹というか柱を立てながら予算を考えていくことにしました

①：公共事業は住民の生活に直接関連のある事業を優先させる。

②：補助金等は、その効果を考え、零細補助の整理を考える。

③：老人、病人、幼児などを中心に福祉事業については国や県の方針にあわせ本町の実情を勘案しながら優先して予算は計上する。

④：人づくりは最も大切ですので、教育予算中、教材ならびに教育環境の整備PTA負担の軽減ならびに学校統合のための施策を推進する。

⑤：物価対策事業を推進する。

⑥：物件費等については極力節減する

⑦：人件費の増高に伴い、ぜひ、もう少し人員を増す必要は認めながらも大幅な定数増はこの際、抑制し効率的な人事配置ならびに職員研修を推進する。

これらが基本的な考え方です。この基本線にのっとり昭和四十九年度当初は十一億二千九百九十万円の予算を計上しました。前年に対して十二・三割の増です。

（款の説明は要約掲載）

議会費 人件費ならびに経常的経費の増で二千八百七十九千円を計上。

総務費 一億五千五百十八万九千円。前年度より三・六割の伸び。四十九年度はじめての試みとして消耗品類、印刷製本費を総務費に一括して計上、用度事務の簡素化と物資節減をはかりたい。

参議選挙、町長選挙の執行に伴う経費ならびに人件費等の増額。人件費は三役と総務・企画・住民課それに選管・監査事務局に配置する職員の給与等である。

消費生活改善対策事業を取り入れ相談員を一名配置する。また新年度から本町も騒音抑制法の適用指定地となることはつきりしている。レベルレコーダーならびに指示騒音計を購入する。

民生費 一億七千二百六十三万六千円を計上。民生の安定が一番大切な政治課題であり、とくに今日のような時代に本町としても十分考えていきたいとして増額した。増額の主なものは老人医療費九百五十万、国民年金印刷費九百五十万、高井田保育園の新設に伴う扶助費と父子世帯児童養育手当、就職祝金などの扶助費、老人の入浴保養券は、町営温泉だけでなく町内の銭湯（港町・日の出湯）にも適用することにした。

衛生費 五千二百五十五万八千円。増額の内容は人件費、物件費の増と乳幼児医療費の平年度化によるもの。

労働費 五千七百八十八万二千円。前年度より三・六割の伸び。労働者の賃金・資材の値上がりによる。

失業対策事業は年々、就労者は老齢化するが、暑さ・寒さによく耐えて、まじめに働いて本町建設には大いに役立っていることは申し上げるまでもない。

▽：第一種事業 前年に引続き

見婦線、菖蒲谷・辺川下線、本土ヶ原線の四百五十メートルをコンクリート舗装。諏訪後通り、中野線の千メートルをアスファルト乳剤舗装計画。▽：第二種事業 防塵舗装を主体に二十七線延長、約九千五百メートルを実施。町道舗装も一コ班を編成常時補修、小災害の復旧等を行う。▽：第三種事業 町内の側溝の泥上げ、公園内の除草等を実施とくに溝こうの泥上げ清掃など、衛生面に重点を置いて進める。

農林水産業費 五千六百七十二万六千円を計上。増額の主なものは農業資金利子補助農道砂利散布補助、小規模土地改良事業補助、農免道路負担金、飼料作物生産振興対策事業費など。

商工費 四千六百八十九万四千円を計上。丸岡公園の用地購入費九百二十九万五千円、造園や造成事業費等に二千二百三十万円など。商工経営資金、福利厚生資金などを増額。

土木費 二億八百九十四万三千円。前年度の八・三割。道路関連事業は起債など、見とおし困難なため前年度より大幅な事業費削減となる。

道路橋梁費は西別府線、丸岡線春日線、十七号線の工事費および用地費を主体に三千二百五十六万二千円を計上。道路舗装事業は、西別府線ほか六線三千万円を計上。橋梁新設改良費は西ノ原線ほか二件六百九万円を計上。

都市計画事業費は都市排水事業費九百三十八万六千円、木田本通り線二千六百六十七万六千円および用地費と家屋移転補償費三百六十一万円を計上。

公営住宅建設事業は一、二種あわせて二十戸を計画。がけ下周辺の危険住宅の移転は、昨年に引き続き計画、災害からの人命財産の保護に努力する。

消防費 五千一百万円を計上、前年より二・七割の増。団員の報酬改善を例年になく大幅の増額を見込む。防火水槽の設置、

消防自動車を一台購入し、消防力の強化をはかる。

教育費 総額一億九千七百七十八万八千円を計上。小・中学校管理費ともに増額し教育環境整備教材整備等を推進する。事務補佐員補助を前年七万二千円を三十三万八千円に増額。中野小学校の柵城小学校への統合について、国、県の協力を得て鉄筋三階建て二百五十七平方メートル、五十六万円を計画した。

公民館費に県民運動推進協議会を新設、県民運動の推進をはかる。

災害復旧費 過年度災害分の竹脇地区ほか七十七万二千円を計上、この復旧に当たる。

公債費 前年比一・三・六割で一億六百四十万二千円。前年より実質千二百七十七万八千円の増額。本年度も期待するな起債対象事業を取り入れたが、少なくとも本町として最小の事業と判断し、これが遂行に努力する。

新入学（園）児とこどもを

交通事故から守ろう

町職員異動（四月一日付）

福祉課・永原保所長（建設課）上野嘉子▽建設課（福祉課）老山恵美子▽福祉課（住民課）池道子▽住民課（福祉課）玉利知子▽総務課（税務課）内村恵美子▽同（水道課）西森時雄▽水道課（税務課）穂満利行▽永原小養護婦（教委・

庶務課）末吉美代子▽同（総務課）前原清則▽同、原田京子▽総務兼梅木兼夫▽社会教育課長（錦江小）篠原英熊【新採用】税務課・泉宣和▽同恒吉照三▽同、岩崎丈治▽総務課・有村一郎▽同、蔵屋美千代▽福祉課・熊川真子▽竜門中養護婦・下松瀬ルリ子▽加治木幼稚園・徳永真知子

選挙運動をされる方に

公職選挙法のルール違反に対しては、大は当選無効から、小は行為者の罰金刑まで、それぞれに応じた制裁があります。これらの制裁は別としても国会議員選挙の場合は、自ら立法院の一員たらんとする者であり、その他の選挙の候補者にしても政治に関与せんとする者として、定められたものは法律として守り、その範囲内で正々堂々と選挙戦を戦われることが望まれます。

そこで立候補しようとする人や選挙運動員として活動しようとする人は選挙管理委員会からの「選挙の手引書」や一般書店で販売されている参考書などで十分な研究をしていただくことです。

なお、選挙期間中に運動員から次のような苦情をよく聞きますので説明します。

問 選挙管理委員会に尋ねると「違法だ」というが、現に他候補ではやっているではないか。

答 選挙管理委員会は取締機関ではない。選挙法が難解だと思われるので具体的な行為の可否の質問に対して、法の趣旨なり制限なりをできるだけ分りやすく説明しているだけです。例え違反行為であっても取締機関が不知または措置前のものは、第三者からみれば適法のように見えるかも知れないが、それをもって自分の行為の正当性を主張することはできません。

選挙運動員

選挙運動は一般の選挙人でも自分の支持する候補者の選挙運動員になれます。選挙運動員は人数の制限もなく、特別の手続きも必要ありません。ただし現行法では、選挙運動員は候補者に無償で労務を提供することを前提としているので、自分の労務に対して報酬等を要求することはできません。

選挙運動費用の寄付

この人こそ一と思う候補者に対

選挙の
ちしき

して、それを応援する人が、その候補者の選挙運動費用の一部として寄付することは、法で定めている特定の人以上は自由です。しかし匿名の寄付をした場合には、寄付をしたお金または物品は、国などに没収されることになります。

知人などに葉書を出す

候補者は一定の制限で通常葉書を選挙運動に使用することができます。つまり「選挙用」と表示された未使用の葉書を候補者からもらってきて、友人や知人に推せん

状を出すことができますが直接ポストに投函はできません。

街頭演説での応援演説

街頭演説の場所で選挙運動に従事することが出来る者の数は、候補者一人につき十五人（参議院全国区候補者一人につき一都道府県ごとに十五人）をこえてはならない。これらの人は選挙管理委員会が交付する街頭演説用腕章をつけなければならぬ。街頭演説には人数制限だけでなく時間、場所などの制限もあります。

電話での投票依頼

電話を使用して友人や知人に支持している候補者への投票を依頼することが出来ます。

個々面接での投票依頼

街頭で行き会った人、乗物の中で出会った人などに投票を依頼することが出来ます。ただし、街頭で多くの人に聞こえるように投票依頼すると個々面接の域からはみ出るようになります。

ポスターの掲示の承諾

候補者等から頼まれて選挙運動用ポスターや政治活動用ポスターを自宅の扉などに掲示することを承諾することは、選挙運動ではなく、制限はありません。

そのポスターに選挙管理委員会の検印または証紙が貼ってあればそれは適法なものです。また、候補者等が無断で、あな

たの自宅の扉などに掲示した場合、このポスターを居住者が撤去しても選挙妨害にはなりません。

選挙運動ができない人

選挙の公正な執行の確保と選挙の公明化を図るなどの理由で次の人々は、その職にある間、選挙運動は禁止されています。

▽選挙関係事務従事者
投票管理者、開票管理者、選挙長など。

▽特定公務員

選挙管理委員会委員、同職員
裁判官、検察官、警察官、収税
官吏徴税吏員など。

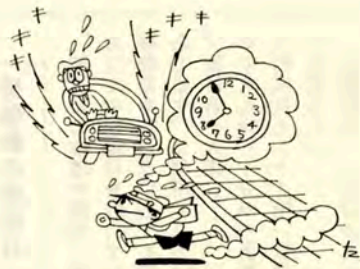
▽選挙権・被選挙がない人
年齢満二十歳未満の人。選挙
権が停止されている人。被選挙
権が停止されている人。

▽公務員等
公務員、教育者（国家公務員
法、地方公務員法、教育公務員
法等により選挙運動が禁止また
は制限されています。またその
地位を利用して選挙運動をする
ことが禁止されています。

やってはいけない選挙運動

選挙運動について、全く禁止されているものがあります。主なものをあげてみます。

- ①戸別訪問
- ②署名運動
- ③飲食物の提供
- ④氣勢を張る行為
- ⑤選挙後のあいさつ行為



セカセカ登校は事故のもと

焼け残る真菰の茎や水温む
伊丹 司
浮雲に照り戻り見せ桃咲ける
横山江南
子を抱けば菓子匂ひひ麗月
鶴田 耕
麦踏の煙管で道を教えをり
白尾建樹
倒産の跡にはためく枯芭蕉
中山待香
雲雀野や遠嶺にひびく耕転機
井上透山
孫を見に行きしが雨に木瓜濡る、
恒吉斗南
しつば振り子馬売られて枯野行く
松永愛子
タコかぶりつき初市を大らかに若
永田太陽
夫婦
傘開き園児にわたす菜種梅雨
林 玄洋
さざめきが園児にあがり春きたる
三浦大鵬

告知板



町立図書館から

新刊書 あんない

大予言▽巨富を築く13の条件▽
セールス上手▽玖美子のおしゃべり▽日本三銃士▽歴史と小説▽暗

老人の交通事故

昨年死亡3、ケガ45人



老人を見かけたら徐行するなど…

交通事故は依然として多発の傾向にあります。加治木警察署管内でも今年に入ってから二人が交通事故のために死亡しています。なかでも老人の事故がめだつてふえており昨年中に管内で発生した老人の事故は四十二件で、このため三人が死亡、四十五人がケガをしています。

とくに最近の三件の死亡事故はいずれも六十歳以上の老人で占められています。

加治木警察署では、老人の交通事故防止について、次のようなことを呼びかけています。

▽：老人の夜間の外出は、でき

殺の年輪▽汝の父を敬へ▽人妻だから▽唐三彩の謎▽関の孫六▽仏教入門▽緋の襖▽かぼちゃの馬車▽こどもが危い(上・下)パズル式漢字教室▽色即是色▽スプーン一杯の幸せ▽チャーリーチャップリン▽帝国主義の展開▽日本の女帝▽ぼくの英才教育▽自然界99の謎▽母親のための人生論▽自主トレーニング▽米軍と農民▽昭和恐慌▽フランス革命期の女たち▽欲求の心理▽なぜなぜはかせのか▽くの本20巻▽少年少女世界の歴史12

巻▽日本の歴史5巻▽創作児童文学選18巻▽北斗の人▽城塞▽風神の門▽勝海舟(上)人間の条件(上・中・下)▽娘たちに愛をこめて▽空の果てまで▽関東大震災▽警女▽親鸞紀行▽堀辰雄▽孤独なる人生▽西陣の蝶▽柳橋物語ほか▽さぶ▽女の一生ほか▽城▽日曜大工入門▽きょうの料理▽美容の医学常識▽西郷隆盛言志録▽おしゃれの美学▽ゆつくり歩こう日本▽現代女性百科▽税金に強くなる本▽基本六法▽現代作家辞典▽漢和辞典

るだけ避ける。

▽：老人のいるご家庭では、老人の事故防止について、よく話し合い、老人が事故の被害者とならないよう指導する。

▽：老人が道路を歩いているとき横断しようとしたりしているときは、積極的に誘導するなど老人の保護活動につとめること。

▽：車両の運転者は、老人をみかけたときは徐行するなどして、老人が思いがけない行動をとっても、とっさに避けられるような運転につとめること。

新入児の緊張を

ほぐしてやろう

新入学、入園した子どもさんはいままでと全くちがった環境にはいったせいか、緊張しきって一日

自動車税は
五月に変更

年1回納入

自動車を所有している人が、納める自動車税は、昨年までは四月と十月の二回に分けて納めていたが、地方税の改正によって今年から、年一回、五月に一括納付するように改められました。

このため、今年の自動車税の納税通知書は五月中旬に発送されます。

を終え、家に帰ると、出かけるときの元気さはどこへやら、もう、ぐったりして、ぼんやりあくびばかりしていることがあります。

お母さんは、学校で何かあったのじゃないかと心配のあまり「どうしたの?」とせっかちにお子さんを問いつめます。「なんでもないよ」と、お子さんは口をつぐんでしゃべろうとしません。

なんでもなければいいけれど、何かあったと思ひこみ、お母さんはますます心配になります。

帰ってきたお子さんにすぐ今日は何があったのか、みんな報告させるように仕向けるのはむしろ逆です。

そこで学校のことなど、お父さんが帰ってきて、夕食のときにでもみんなで話し合う程度にして、まずお子さんの緊張をほぐしてやりましょう。

身障者のかたへ

町福祉課では、身体障害者手帳を交付したかたがたについて転出・死亡および現住所確認のために交付台帳の整理を行なっています。身障手帳をもっているのに、まだ手続きをしていないかたは手続きをしてください

▽必要なもの

- ①身障手帳
- ②印かん

お年寄のかたへ

町では、昨年の十月から満六十五歳以上七十歳未満を対象者に、障害者(ねたきり老人など)老人医療費の助成をしています。まだ手続きをしていない方は早めに申請してください。

▽必要なもの

- ①保険証
- ②印かん

補聴器の相談日

補聴器の修理や調整、聴力検査などの相談日を設けています。補聴器を持たない方でも相談に応じます。ご利用ください。

▽毎月第一火曜日

▽午前九時三十分から正午まで

▽町福祉センター第一会議室

▽必要なもの

- ①補聴器
- ②印かん

話題 あれこれ

小山田分団に 消防ポンプ車

町消防団の小山田分団に新しい消防ポンプ車が配属になり、三月八日、入魂式が行なわれた。

この消防ポンプ車はジーブ型五人乗り、百三十馬力。同地区の地形にあうように車の床も高く設計され、四輪駆動。放水能力は一分間に二・五トン。形は小さいが装備や威力は普通型に劣らない。

可搬ポンプ一台も積み込んでおり、化学薬品の使用も可能。値段は二百七十二万円で、国からの補助は六十五万円。



南九州病院内の 分教室で卒業式

筋ジス病という不遇な病いのため親もとを離れ、病院で闘病生活をしている子どもたち四十三人は、木田にある国立南九州病院の錦江小と加治木中の分教室に通学しています。

三月二十三日この分教室で第一回の卒業式が行なわれ、小浜和久新門登、仲村悟、山根弘之、宮里ルミ子さんらに錦江小の橋口敏美校長から、中卒の柳田俊匡くんには加治木中の羽生満蔵校長から卒業証書が渡されました。最近沖縄県から入院した喜納正博、比島昭壮くんには前中学校の卒業証書が伝達されました。

式場のうしろには、親がわりとなってお世話する病院の先生や看護婦さんたちが大勢参加しました。



中学卒就職者 18人の壮行会

ことし町内の中学校を卒業して県内や県外の会社や事業所などに就職する中卒就職者は十八人（男七、女十一）です。

町教育委員会では三月十三日、町福祉センターで就職者の壮行会を開きました。曾木町長は「一ぱん大切なことは、からだを大事に楽しく働くことだ。つらいときは加治木を思い出し、若い人生をおおしく踏み出し苦勞をのりこえてほしい」と激励。町議長、町婦人会長、郵便局長らも激励しました。このあと就職者たちは、勤め先のレクリエーションなどで役立つ「おはら節」をおそわり、なかなか研修会を終わりました。就職先で堂々と胸を張って踊ることを期待したいものです。



中園くんの作品

県の特選に入賞

春の全国火災予防運動の一つとして鹿児島県が県内の小・中学校から募集していた防火ポスターに町内・錦江小学校六年の中園淳一郎君の作品が「特選」に入賞しました。

三月七日、町長室で曾木町長から「入賞おめでとう」と、賞状とタテが中園君に伝達されました。これからも、よい作品をかいってください。おめでとう。



自治功労者の表彰

23年勤続・東さん

二月十九日、県町村会の総会で県下町村職員永年勤続表彰があり、東さん（二十三年八カ月）が選ばれました。

おわび 前号に掲載した際、東さんのお名前がもれていました。おわびして掲載します。

西部始良四力町

森林組合が合併

昭和四十六年ごろから、西部始良郡四力町の森林組合を合併して組織を強化し組合員の利益を高めようと、関係町長、議長、森林組合長など、たびたび会合して話し合いを続けてきました。

ところが本部をどこにするかでもめて各町自分の町にーと主張して、いつも物別れになってしまいました。

本町として、この四月合併される新共済組合事務所を加治木に置くこと一決定されるのを機に、町長は森林組合本部は蒲生町寄りの始良町内でどうだろうと提案しました。

この試案について、いろいろ検討の結果さる三月九日、仮事務所を当分、旧始良町役場跡（同町の納屋町）に置くことで意見の一致を見て、この九月一日から新発足することになりました。

町立図書館に

本棚のご寄贈

町立図書館に溝口宏二さん（町内・本町）から、次の品物のご寄贈がありました。

マスチール製・本棚 五個
ありがとうございました。

中野小閉校

97年の歴史を閉じる

四月から柁城小へ

スクールバスで通学



最後の校歌をうたう子どもたち

この三月で、また一つ小学校が閉校になりました。九十七年におよぶ長い歴史と伝統をもつ町内の中野小学校の閉校式は、三月二十三日午後二時から同校で開かれ、五十人の児童や校区民、来賓など関係者二百人が参加しました。

中野小学校は明治十一年九月に柁城校の分校として創立され、同十四年に日本山、中野、楠原の三教場となったが同十七年に楠原一教場となり、中野に移転、同十九年に名称が中野小学校となった。昭和三十年五月、校区民の労力奉仕によって現在地に校舎が移転改築され、現在にいたつていたものです。

中野小学校は、当地区でただ一つの文化の中心として、校区民から親しまれ、またかずかずの教育業を残し、卒業生も千五百五十人の多くをかぞえ、優秀な先輩たちを社会に送り出しています。

閉校式の前々日の三月二十日には中野小学校最後の卒業式も行なわれ、上平田英海校長先生から有村孝志、今村正人、音之宮智広、上村友二、本村亮くん、富永美津代さんらの六人に卒業と閉校の二つの意味をもった卒業証書が渡されています。四月の新学期から、子どもたちはスクールバスで柁城小学校へ通学することになります。閉校式で曾木町長は「大変長い歴史と伝統をもつ中野小の閉校式を先生がたと子どもたち、校区のみなさんがたといっしょに名残りを惜しむことは、胸がいつぱいで感慨無量な思いだ……」と前向きして「この子どもさんたちが、もつと広い大きな舞台で、たくさんのお友達といっしょにみがかれることを信じて、このようなことになったわけです。」

⑨ ページ上へ



校区代表

緒方吉行

末長くこの地区の中心を守りたい

中野小学校が本日限りで閉鎖されることは私どもにとって、まことにさびしく名残惜しい感じ、胸がいつぱいだ。現在のこの校区の過疎現象にともない、生徒数が年々減少していくという現状は、とてもいたしかたがない。そこで町の施策に従い子ども



歴代校長代表

刀迫勇雄

堂々と胸を張って
どんどん勉強せよ

私はこの校舎ができたときにいたものです。もとの校舎は、この裏にありジメジメした小さい校舎でマムシの出るところだった。

お父さんお母さんたちは、大きな明るい学校をつくってくださいと曾木町長さんをお願いしたところ

将来の幸福を願い、柁城校に統合するということは忍びがたきを忍んで、この際決意せざるを得なくなったというのが、この地区の実状だ。

本校の歴代の校長先生はじめ、諸先生がたは、この地区の社会教育の面にほとんど主役となって尽くしてくださった功績に対して衷心から感謝申し上げたい。

この学校が閉鎖されたあと、この地区はあたかも暗夜に灯を失ったような感じがするのではないかと考え、いちまつの不安を感じながら町当局の配慮で校舎の一部は公民館に貸与することで、これからはこの土地で地区民の研修の場として、またいいこの場として末長くこの地区の中心を守っていきたい

ろ「大きなとを一つ造つてあげよう」といって町長さん、私、当時のPTA会長の永吉さんが果行にを行った。そこでも「ヨカロ」と許しがでてお父さん、お母さんたちは朝から晩まで山を切りひらいて土を運んで、こんな大きな校舎ができた。

こんどは柁城小に行くが、いじけず、ちじこまず、胸を張って元気よく堂々と行きなさい。そして早く柁城小の子どもたちとお友達になって、どんどん勉強して、どんどん書きまくって、どんどん上へあがり中野小の子どもとはえらい。勉強ができる——といわれるようになってください。

何十年かのちに、この校区が開
発され、人家もふえて楠原台地の
真ん中に鉄筋三階建ての大きな中
野小学校が建設される日もきつと
来る—と信じる。校区の皆さんが
たが今日まで、この学校を守って
いたために大変お世話になっ
たことに感謝し、お子さんたちの
ご幸福を祈ります」と式辞を述べ
ました。

町教育委員会の告辞や町議長、
歴代校長代表のあいさつのあと校
区代表の緒方吉行さん、最後の校



児童代表
本 村 亮

中野小で勉強した 力を出して頑張る

きょうここに、たくさんのお客
のかたがたや、おじいさん、おば
あさん、お父さん、お母さん、先
生がた、それに私たちも出席して
九十七年間の長い歴史と多くの先
ばいを育てた中野小学校の閉校式
を迎えることになりました。

中野小学校は、みどりの木々に
かこまれ小鳥はさえずり、草花は
咲きみだれ、きれいな空気を胸い
っぱいすってみんな兄弟のように

長先生となった上平田英海校長、
児童代表の本村亮くんらがあいさ
つしましたが、やはり胸にせまる
ものがあり、口に出すことばも、
ときおりとぎれがちでした。

あいさつを聞きながらジッと教
室の天井を見つめる校区の古老や
何度も何度もハンカチを目にあて
る婦人の姿など、会場のあちこち
で見うけました。

日本山川のせせらぎや
蔵王の山にまもられて
みどりの木々につつまれて

仲よく助け合い、はげましあつて
勉強や運動に一生けんめいがんば
ってきました。

校区あげての楽しかった大運動
会、親子会、海水浴、学習発表会
修学旅行、一日遠足、町民体育祭
など数多くの思い出が、きょうま
た、よみがえってきます。この思
い出の多い中野小学校もきょうか
ぎりでなくなることは、私たちは
もちろん、おじいさん、おばあさ
ん、お父さん、お母さん、みなさ
んがたまさびしいことでしょう。

わがまなびやの中野校
歴史をついで励むのだ
希望はるかに進むのだ
色あせた朱色の校旗を前にして
児童や校区民、先生方、参列者全
員が歌う中野小学校最後の校歌斉
唱だけがひとときわ高く、大きく、
静まりかえった校舎に校庭に流れ
ここに九十七年の歴史の幕を閉じ
ました。

「サヨウナラ中野小学校」



中野小学校長
上 平 田 英 海

最後を見とどける 者になり感慨無量

地域住民の心のよりどころであ
る学校の閉校式をあげねばならな
いために追いやった社会情勢の変

て柅城小でもがんばります。皆さ
まがたや先生がた、これからも今
まで以上に私たちを見守り、私た
ちににあたたいお力ぞえをお願い
いたします。

化をうらむ者の一人です。

九十七年にわたって多数の先輩
たちが築きあげた伝統を二代、三
代と受け継がれ、守り続けられて
きた現在の五十人の在校生の、こ
の子どもたちにも、この鼓動は体
内に脈々として流れているようだ
これまでに二十数代も優秀な先
輩校長先生はじめ諸先生、みんな
私と同じ気持で最善を尽くして合
日に至っていると思う。私どもが
最後を見とどけなければならぬ
破目になり感慨無量なものがある
社会情勢の変化は激しく、過疎
過密の現象は、そのとどまること
ろを知らず昭和四十九年ついに閉
鎖されるにいたった。地区民が心
のよりどころとしてきた学校が閉
鎖されることは地区民にとって、
これ以上のさびしさはないことは
はっきりしている。

しかし子どもたちの将来を見た
とき、忍びがたきを忍ばねばなら
ない大切な時期にきていると思う
これと思うとき、これまで以上に
地区民の皆さんが心を一つに結び
子どもたちの将来の発展のため、
また地域の発展のため活発な活動
が始まることを祈ってやまない。

最後に中野校区が今日までより
以上に発展するように、子どもたち
がますます、すこやかに伸びること
を祈り、思うことの一部分とします

町内の 在宅医



(四月)	
7日	玉利病院 ② 三三三八
14日	壱岐医院 ② 二二二二
21日	池田医院 ② 二二二〇
28日	岩崎昭医院 ② 三三一五
29日	大川医院 ② 二〇三二
(五月)	
3日	神田橋医院 ② 二〇二四
5日	平山医院 ② 二四六八
6日	玉利病院 ② 三三三八
12日	壱岐医院 ② 二二二二
19日	池田医院 ② 二二二〇
26日	岩崎昭医院 ② 三三一五

桜の幼木百五十本 丸岡公園用に寄贈

西塩入の久保金蔵さん
は、町が建設計画中の丸岡公園
用にと、このほど桜の幼木百五
十本を寄贈されました。

町では同公園の整地がすみ次
第定植することにして同敷地内
に仮植しました。久保さんの寄
贈された百五十本の桜が活着し
て、やがて丸岡公園の桜の名所
となる日が待たれることです。
ありがとうございます。